



## 理科特別授業

6月26日（金）に中高生時代の科学研究をきっかけに、現在、大学で研究者として、教育者として活躍されている村本哲哉先生をなぎさ公園小学校にお招きすることができました。幸せなことに、5、6年生が世界的な研究者のお話を聞く機会として理科の特別授業が行われました。

村本先生は、中学時代に小瀬川（広島・山口県境）の干潟のカニの研究により、日本学生科学賞中学校の部で日本一の内閣総理大臣賞を受賞され、米国でのISEF（国際学生科学技術フェア）で特別賞を受賞するなど、幼少期から身近な自然に触れて探求心を持ち続けられた方です。



身近な自然を観察して不思議に思ったり、疑問に感じたりしたことを追究していく中で得た学びの喜びを率直に語っていただきました。驚きや感嘆の声がしきりでしたが、なぎさっ子からは、次々に質問が出され、夢は、世界へと広がった子も多かったのではないのでしょうか。

テレビにも取りあげられたISEFの様子を見ると、自分の研究を世界の人に訴え、理解を得ることのすばらしさや喜びをうかがい知ることができ、心動かされる時間となりました。

本校は、例年、科学研究では、数々の賞を受賞するなど、実績を持つ学校として有名です。今後、さらに、研究に取り組む子どもたちが増えていくのではないかと予想されるほど、熱気が会場いっぱいになりあふれていました。

## 宇宙アサガオ

宇宙飛行士の山崎直子さんが宇宙に持って行き、帰ってきた200粒のうちの1粒。譲り受け、育て続けて6年目の今年も元気に育っています。

## 今月の生活目標

- 身なりをととのえよう
- 雨の日は、静かに過ごそう

## 本物にとびつくなぎさっ子

吉岐への3泊4日の修学旅行。なぎさネットやブログで毎日の感動体験をお知らせしていましたが、なぎさっ子に驚かされたエピソードを紹介しましょう。

吉岐では、海底に積もった地層が地殻変動で隆起し、見事な地層がみられる「吉岐の土台石」とよばれる所があります。

なぎさっ子の様子を見て、バスガイドさんが驚かれました。日く、「この場所は、案内しても子どもたちの多くは、興味を示すことなく通り過ぎてしまうんですよ。」とのこと。見れば、なぎさっ子は、地層に飛びつき、われもわれもと、石を拾い始めては、化石はないかと探し始めます。説明に来られた学芸員の先生までその様子に驚かれるほどでした。本物に触れる楽しさや感動、価値を知っていればこそその行動です。

実際、化石と思われる石を見つけて大興奮のなぎさっ子たち。吉岐のお土産の一つになりました。



浜で行われた地引き網体験。手にした大きな魚は、スーパーではなかなか見ることができないものでした。三枚におろして、刺身にしたり、そのまま、焼いて食べたりと自然の恵みに心もおなかもいっぱいになりました。